

和歌山だよいい

平成26年 7月号



河内祭の御舟行事（串本町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P8
3. お知らせ…………… P9～P12
4. ふるさと歳時記…………… P13～P14

源平合戦で源氏に味方した熊野水軍の先勝祈願や凱旋報告の名残と伝えられています。

宵宮の入船式で「河内大明神」の神額を受けた3艘の御船が上流の河内島に到り夜籠りに入ります。

本祭りでは神官と神への奉仕者である「お上臈さま」を乗せた当船を先頭に權伝馬・獅子舞伝馬・屋形船が舳先を連ね島へ向かい神事が行われます。



メルマガ

和歌山県は、県の政策を県民の方々にできるだけ分かってもらいたいと思っています。また、県にとって良い話はどんどん積極的に全国に発信して、和歌山県のイメージアップに努めようとしています。

そのために、「県民の友」はもちろんですが、テレビ和歌山の県広報番組「きのくに21」(毎週日曜9時30分～、再放送：22時～)、「クローズアップ県政」(毎週木曜21時55分～)も大変重視して、皆様に最大限多くの県情報をお届けしています。また、記者会見も、私が知事になってからは毎週行い、特定話題についてのぶらさがりという取材もいくらかでも受け入れているつもりです。おかげ様で「県民の友」が、今年、全国広報コンクールで総務大臣賞(都道府県・政令指定都市部)と読売新聞社賞をもらうなど、多くの方々に評価をいただいています。

一方、実はたくさんある全国最高レベルの県の行政の数々とか、和歌山の魅力とか良い話を全国メディアにのせて和歌山以外に届けるという事は、そうやさしくはなく、片や悪い方の話は、あっという間に届けられてしまいます。また、県自慢のなかなか使い勝手の良い振興助成策も県民の皆様知られていないがゆえに使われないという例もまだまだたくさんあります。

そこで新たな試みとして、2つのメルマガを始めました。メルマガとはメールアドレスを頂戴しておいて、情報を自動的にメールボックスに入れておくというものです。

第1は県政全般で広報課が担当しており、記者会見の内容、知事メッセージ、超重要PR案件などが対象です。前述のように県外に対する情報発信が弱いということのカバーするために始めましたが、県内の方でもご希望があれば申込みをしてくだされればお送りします。

第2は産業助成メルマガで商工観光労働部が担当しています。中小企業者などが利用できる振興政策について、県の政策のみならず、中小企業庁や国の各振興機関の助成などの情報も含め送られてきます。

どなたでも申し込めますので、最寄りの振興局又は県の広報課までどうぞ。なかなか役に立ちますよ。



6/2 定例記者会見にて




今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●紀州梅バーガー開発研究会公認商品発売中！

・6月10日から、「紀州梅バーガー」が発売されています。県では、県特産の梅消費拡大と需要喚起を目的に、民間の食品事業者や生産者、試験研究機関との交流の場として平成24年に「紀州梅バーガー開発研究会」を設けて、梅の新たな消費形態を提案する商品開発を進めてきました。海外ではなじみの深いハンバーガーに、身体に優しい梅干しなどの梅加工品を使用することで、健康に関心の高い海外の消費者をターゲットとした輸出への取組ができないか、という発想が出発点となり、この度の開発に至りました。

・紀州梅バーガーは、「県産の梅を使用していること」「梅の健康イメージをアピールできること」「県産の梅であることを表示すること」を定義としています。皆さんも機会がありましたら、おいしくて健康にもよいこのバーガーを御賞味ください。

商品名	紀州梅バーガー ～はちみつと南高梅とチキンカツ。あがらの梅え、Wソース！！～			
販売者	(株)カワ	価 格	4 2 2 円(税込)	
	和歌山県・大阪府で販売	販売期間	H26. 7. 1～H26. 8. 31	
商品説明	まるごと乗せた紀州はちみつ南高梅をメインに、相性の良い色味鮮やかな大葉とトマト、県産うめどりのチキンカツを八穀パンで挟みました。仕上げに梅ピクルスのタルタルソースと梅特選ソースのWソース使いで「和歌山の美味しい！」を凝縮したバーガーです。			
商品名	プレミアム紀州梅バーガー			
販売者	肉のまる彦本店	価 格	5 0 0 円(税込)	
	和歌山市で販売	販売期間	H26. 6. 10～通年販売	
商品説明	梅パンズ、うめどり・うめぶた・熊野牛を使用したハンバーグ。梅ピクルス、ハンバーグソース(ハグルマ(株))、県産野菜等県産にこだわったバーガーです。			
商品名	紀州梅バーガー～紀州うめどりと南高梅ソース～			
販売者	(株)ローソン	価 格	2 9 8 円(税込)	
	近畿2府4県で販売	販売期間	H26. 6. 10～H26. 7. 7(販売終了)	
商品説明	梅紀州うめどりのチキンカツに南高梅ソース、梅ピクルスを合わせたバーガー。梅ピクルスの酸味と梅ソースの甘みがマッチし、温めるとより風味が増します。			

●関西初コラボ！カゴメ(株)から「野菜生活100紀州うめミックス」が発売

・7月1日から9月下旬にかけて、カゴメ株式会社から和歌山産の南高梅を使用した「野菜生活100紀州うめミックス」が季節限定で発売中です。この商品は地域の特産農産物を使用した人気の「野菜生活100」シリーズで、今回、関西の農産物を使用した初めての商品となりました。

・商品パッケージの前面には、瀨峡をイメージしたイラストを背景に紀州梅をあしらひ、側面では「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会」マスコット「きいちちゃん」が、「熊野古道世界遺産登録10周年」「高野山開創1200年」をPRしています。

・県では、梅の需要拡大に寄与していただけるものと大いに期待しています。皆さんも是非お試しく下さい。



●和み わかやま 駅弁&宿ごはん

・和歌山デスティネーションキャンペーン(わかやまDC)推進協議会では、同キャンペーンの特別企画として、「駅弁」と宿泊施設での食事「宿ごはん」を実施します。現在、テレビCM・ドラマ、映画、雑誌など日本のメディア業界で活躍するフードスタイリスト 飯島 奈美さんのレシピによるもので、飯島さんが都道府県の食をプロデュースするのは初めてのこととなります。

<駅弁、宿ごはん概要>

・コンセプト…和歌山の食材をふんだんに使用し、また、和歌山の郷土料理や食文化からヒントを得て、飯島さんらしいアレンジを加えた温かみのある駅弁や宿泊施設の食事を提供

・期間…平成26年9月14日(日)～12月13日(土)
 ・駅弁…販売価格：「めはり寿司弁当」「梅ちらし弁当」
 ともに900円(税込)

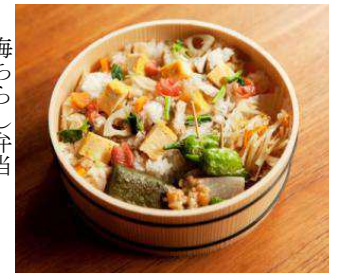
販売場所：JR和歌山駅、JR紀伊勝浦駅
 特急くろしお車内
 JR新大阪駅(調整中)

制作業者：(株)和歌山水了軒(和歌山市)
 川柳(那智勝浦町)

・宿ごはん…販売価格：それぞれの宿泊施設で決定
 制作業者：ホテルグランヴィア和歌山(和歌山市)
 家族とすごす白浜の宿 柳屋(白浜町)
 ホテル三楽荘(白浜町)
 紀州白浜温泉 むさし(白浜町)
 温泉三味の宿 白浜館(白浜町)
 南紀白浜 梅樽温泉ホテルシーモア(白浜町)
 ホテル天山閣 海ゆう庭(白浜町)
 ホテルベルヴェデーレ(すさみ町)
 かつうら御苑(那智勝浦町)
 勝浦観光ホテル(那智勝浦町)
 花いろどりの宿 花游(太地町)



めはり寿司弁当



梅ちらし弁当



・「和み わかやま 宿ごはん」メニューでは、まぐろ、太刀魚、梅干し、山椒、大根など和歌山の食材をふんだんに使用します。家庭での朝・夕御飯のような温かみがある素朴な見た目ながら、味付けや調理方法など随所に飯島さんならではのこだわりが光り、想像以上の美味しさとなっています。9月からとなりますが、皆さんも和歌山へお越しの際は、駅弁と宿ごはんを是非お召し上がりください(宿ごはんは事前申込みが必要です)。

<飯島奈美さんプロフィール>

東京生まれ。フードスタイリスト。CMなど広告を中心に活動。映画「かもめ食堂」や「そして父になる」、ドラマ「深夜食堂」や「ゴーイングマイホーム」などのフードスタイリングも手がける。また、最近ではNHK朝の連続テレビ小説「ごちそうさん」のフードスタイリングを手がけた。
 ※フードスタイリスト…テレビCMやドラマ、映画、雑誌などの撮影現場で撮影される料理やテーブル周りの演出を手がける職業



●県内小学校へ「うめ」を提供しました

・県では、地産地消の取組として、一昨年度から県内小学校・特別支援学校の給食や家庭科等の教材として、主要農水産物の提供を行っています。

・本年度の取組第1弾として、県内の国公立小学校・特別支援学校263校に「うめ」を提供し、子どもたち自らがうめジュースづくり体験等を行いました。また、農家の方と県職員が直接以下の学校に出向き、「うめの生産状況」等について、子どもたちに説明する出前授業を行いました。

・出前授業を受けた子どもたちは、「和歌山がうめ日本一だと知ってびっくりした。」「お母さんにも飲ませてあげたい。」と話すなど、大盛況でした。

・なお、今年度は、うめ以外に、もも、かき、みかん、魚の5品目を提供予定です。



実施日	実施校名	実施日	実施校名
6月16日	紀の川市立池田小学校	6月19日	海南市立黒江小学校
6月17日	湯浅町立田栖川小学校	6月26日	橋本市立信太小学校
6月17日	すさみ町立周参見小学校		

●「第18回機械要素技術展」へ集団出展しました

・6月25日から6月27日にかけて、東京ビッグサイト(東京都江東区)において開催された「第18回機械要素技術展」に、和歌山県から12社(うち3社が初参加)が出展しました。

・この展示会は、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めたもので、来場者数は3日間で約8万1千人となりました。県内中小企業が持つ製品や技術力をPRし、販路開拓の契機とするため、出展ブースでは、各企業が製品の展示や実演を行いながら、活発な商談が行われました。



○出展企業

企業名	所在地	主な業務内容	出展製品・技術力
アイエムティー(株)	印南町	精密研磨装置製造	試料研磨機、試料埋込機
青野パイル(株)	橋本市	高密度パイル織物製造	フィルター・軸シール
川本化成(株)	和歌山市	プラスチック製品の溶接	樹脂溶接技術
(株)環境テクノス	和歌山市	純水装置製造	超純水製造装置
(株)小松金属	和歌山市	鋳物部品製造	アルミ鋳物品、機械加工部品
金剛ダイス工業(株)	紀美野町	冷間鍛造金型製造	小径穴冷間鍛造金型
桜井鉄工(株)	かつらぎ町	高圧継手製造	高圧継手
正和産業(株)	有田市	シール製品製造	高機能シール製品
大栄工業(株)	和歌山市	合成樹脂販売、機器開発	汎用型検査装置
太洋工業(株)	和歌山市	電子基板・基板検査機	シートフィルム表面検査機
メイク広告(株)	和歌山市	大型インクジェット出力	デコ機械
小川工業(株)	橋本市	自動車部品製造	自動車用冷間圧造部品

●第2期「わかやま塾」を開講しました

・6月20日、昨年度に引き続き、「わかやま塾」を開講しました。「わかやま塾」は、将来の和歌山県を支え、世界に羽ばたくグローバル人材を育成することを目的としており、50歳未満の県内企業の経営者・幹部・後継者、公務員など100名が塾生として参加しています。



・冒頭、仁坂知事が塾長として、「皆さんが和歌山に対して誇りをもってもらいたく「わかやま塾」を開講した。そして和歌山を良くするため、それぞれの立場で具体的に行動を起こせるよう、先人の経験を通じたノウハウとしての心掛けと様々な分野の知識を学んでもらいたい。幕末の志士のような気持ちで頑張ってください。」と挨拶しました。その後、近畿経済産業局 小林局長による知識編「世界経済情勢について」と題した講義、塾生による1分間スピーチ、県企業振興課 大山課長による心掛け編講義が行われました。講義終了後には、交流会を開催し、塾生同士が交流を深めました。

・今後、下記のプログラムにより、全9回の開講を予定しています。

回数	日時	テーマ	講師	肩書き
第1回	6/20	世界経済情勢について	小林利典	近畿経済産業局長
		塾生1分間スピーチ		
		心掛け編講義	大山 茂	県企業振興課長
第2回	7/25	インフラについて	石原康弘	県県土整備部長
		塾生1分間スピーチ		
		心掛け編講義	中野幸生	中野BC(株)代表取締役社長
第3回	8/22	金融政策について	本田悦朗	内閣官房参与 静岡県立大学国際関係学部・ 同大学院国際関係学専攻科教授
		塾生1分間スピーチ		
		プレゼンテーション技術について	野口明美	(株)営業会議代表取締役社長
第4回	9/19	国の政治行政制度について	仁坂吉伸	県知事
		心掛け編講義	志賀俊之	日産自動車(株)代表取締役副会長
		交流会		
第5回	10/17	税制について	市川靖之	県総務部長
		心掛け編講義	青山繁晴	(株)独立総合研究所代表取締役 社長兼首席研究員
第6回	11/21	地方行財政制度について	田嶋久嗣	県政策審議課長
		心掛け編講義	細江美則	太洋工業(株)代表取締役社長
第7回	12/19	社会保障・福祉について	白石真澄	関西大学政策創造学部教授
		心掛け編講義	村上恒夫	(株)サイバーリンクス代表取締役社長
第8回	1/16	エネルギーについて	澤 昭裕	21世紀政策研究所研究主幹 NPO 法人国際環境経済研究所所長
		心掛け編講義	秋竹新吾	(株)早和果樹園代表取締役社長
第9回	2/27	貿易・国際経済システムについて	石毛博行	(独)日本貿易振興機構理事長
		心掛け編講義	中野幸生	中野BC(株)代表取締役社長
		卒塾式(修了証授与等)		
		交流会		

※プログラムは都合により変更となる場合があります。

●インドビジネスセミナー&交流会 in 和歌山を開催しました

・6月11日、和歌山市のJAビルにおいて、県、在大阪・神戸インド総領事館、(公財)わかやま産業振興財団及び日本貿易振興機構(ジェトロ)との共催により、「インドビジネスセミナー&交流会 in 和歌山～インドとの新たな歩み～」を開催しました。



・今回のセミナーは、県が昨年10月にムンバイを州都とするインドのマハラシュトラ州と経済交流に関する覚書(MOU)を締結したことを受け、県内企業の皆さんにインド経済や市場、ビジネス環境について深く知っていただく機会として開催したもので、インドビジネスに関心のある90名が参加しました。

・前ジェトロ・ムンバイ事務所長 前川 直行氏による「日本企業のインド進出動向～中国・アジアとの比較を交えて～」と題した講演において、インドの中では同州は比較的電力や水事情が良好であり、今後、日系企業向け専用工業団地も開発されていくとの説明があり、参加者からも大きな関心が寄せられました。また、平成25年1月にインド進出を果たしている株式会社 小出製作所(静岡県磐田市) 小出 悟代表取締役社長からインド進出の実例を紹介していただく中で、今後のインド市場拡大を見込み、引き続きインドでの操業を続けていくと話されました。

・セミナー終了後のビジネス交流会には仁坂知事も出席し、インド関係者をはじめ交流会参加者と意見交換を行いました。参加者の一人は、「これからインドへの進出を進めようとしているが、インド情報の入手やインド関係者とのネットワークを構築する上で、非常に役に立った。」と述べていました。

●県世界遺産センターとインド アジャンタビジターセンターが協定締結

・6月24日、正庁において、県とインド マハラシュトラ州の世界遺産センター同士の提携、交流に関する協定を締結しました。仁坂知事や同州関係者が立ち会う中、県商工観光労働部 藤本 陽司部長と同州観光開発公社 ジュグディーシュ・パティール理事長が協定書に調印しました。



・県と同州とは、すでに観光やビジネス分野で交流を進めているところですが、「紀伊山地の霊場と参詣道」、「アジャンタ石窟寺院群」と世界遺産を有するという共通点から、今回の協定締結に至りました。今後、互いの世界遺産についての紹介や遺産保全のノウハウ等に関して情報を共有するほか、職員の派遣など人的交流も進めていきます。

・仁坂知事は、「マハラシュトラ州には世界遺産のほか、ボリウwoodsの通称で知られる世界的な映画産業がある。和歌山にはロケに絶好の景観が多いので、ぜひ撮影に来ていただきインドで和歌山を紹介してもらいたい。」、インドの パテール文化大臣も、「世界遺産に加えて温泉や豊富な果物など、和歌山県とマハラシュトラ州には共通した観光資源が多い。観光資源の活用について相互のノウハウを共有し魅力を高めていきたい。」と期待を込めました。

・なお、協力の一環として、6月27日から県東京事務所に同公社の東京事務所を併設し、ポスターやパンフレットを用意して、同州の観光PRを行っています。

●国体開催を契機にアンチ・ドーピング活動を推進します！

・県では、70回目の節目となる国体を開催するに当たり、我が国におけるクリーンなスポーツの実現に貢献するため、フェアプレイの精神に反しスポーツの価値を損ねる行為であるドーピングに対しアンチ・ドーピング活動を推進します。

・県の取組としては、県薬剤師会と連携し、国体に出場する40競技団体すべてにスポーツファーマシスト（下記参照）を配置し、競技団体ごとにアンチ・ドーピング講習会を開催するとともに、一般的な薬を服用する際にも相談できる体制を構築します。この取組は国内初となります。

・また、新たに100名のスポーツファーマシストの養成を進めるとともに、スポーツファーマシスト以外にも広く薬剤師に向けた研修会を実施することにより、国体におけるドーピング(特に「うっかりドーピング」)の防止に努めていきます

・さらに、(公財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)と連携し、紀の国わかやま国体マスコットの「きいちゃん」に「PLAY TRUE」という世界共通のアンチ・ドーピングのメッセージを載せ、グッズ等を作成することにより、日本がクリーンなスポーツ環境の実現を誇れるよう、和歌山から広く発信します。



※スポーツファーマシスト…薬剤師の資格を有し、アンチ・ドーピングに関する正確で最新の知識や情報を持ち、JADA所定の講習会や試験等の課程を修了した方を、JADAが認定。全国では約6,000名、県では75名が認定(平成26年6月現在)。

※公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構…平成13年に設立された日本のアンチ・ドーピング活動をマネジメントする機関。アンチ・ドーピングに関する教育・啓発、最新情報の提供、ドーピング検査の実施、国際貢献等の活動を実施。

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会協賛企業等に感謝状贈呈

・6月23日と7月1日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会企業協賛制度における「オフィシャルサプライヤー」に新たに決定した企業及び「きいちゃん募金」に多額の寄附をいただいた以下の企業・団体・個人の方々に、仁坂知事から感謝状を贈呈し、お礼を述べました。



・提供いただきました寄附金は、両大会のボランティア活動や県民運動などの大会運営経費に活用させていただきます。



○協賛企業(オフィシャルサプライヤー)

企業名	提供内容	出席者
ニッポンレンタカー関西(株)	レンタカー使用権の提供	西澤 富夫 代表取締役

○寄附企業・団体・個人

企業名(寄附)	出席者	個人・団体名(寄附)	出席者
(株)タニガキ建工	谷垣 和伸 代表取締役	セツ美容室	森脇 節子 様
三洋建設(株)	川口健太郎 代表取締役専務		
(株)池田土木	池田 智昭 代表取締役	総合型地域スポーツクラブ	空 光昭 会長
南部生コン工業(株)		エンジョイスポーツわかやま	井戸崎 基之 理事長

●わかやま結婚サポーターを募集しています

- ・県では、未婚化・晩婚化が進む中、ボランティアで独身男女の縁結びを地域で応援していただける方を「わかやま結婚サポーター」として募集しています。県内在住の20歳以上の方で、県が実施する研修を受講し結婚支援活動に必要な知識を修得された方をサポーターとして認定します。
- ・活動内容は、独身男女の結婚に関する助言、アドバイス、独身男女の出会いの機会の仲介、県主催婚活イベントなど出会いに関するイベントの情報提供、県事業(わかやま結婚支援)への協力です。
- ・県では、サポーターの方々とともに、「結婚したい!でも、相手にめぐり会っていない」独身男女の皆さんに「出会いの場」を提供していきます。
- ・お知り合いの方で結婚のお世話に興味がある方、結婚を希望される独身の方がいらっしゃいましたら、お声がけください。詳しくはHPを御覧ください。 <http://www.mirai-kirakira.jp/>



●「京都和歌山県人会」総会が開催されました

- ・6月15日、京都市の平安ホテルにおいて、京都和歌山県人会第122年次総会・懇親会が開催されました。
- ・総会の後、京都市特別教育指導員を務める橋本靖弘常任理事による「転換期にある学校教育」と題した講演会が行われました。橋本理事は、教育現場での自らの体験談を交えながら京都市の教育の取組などを紹介しました。
- ・続いて懇親会が開催され、冒頭、松尾会長は、「若い方々や女性の方々にどんどん参加してもらって、県人会の活性化につなげていきたい。」と挨拶しました。
- ・会場には田辺市の御協力による梅酒の試飲コーナーも設けられ、懇親会を盛り上げました。最後は、恒例となった「ふるさと」と「みかんの花咲く丘」を全員で合唱し、盛会のうちに終了となりました。
- ・京都和歌山県人会の皆さんにはふるさと納税等で御協力いただいていることに、感謝申し上げます。



●「わかやま夏の節電アクションプラン」を策定

- ・県では、行政、県民、事業者が一丸となって取り組む和歌山県スタイルの節電対策「わかやま夏の節電アクションプラン」を取りまとめました。
- ・対象期間は平成26年7月1日～9月30日の平日(8月13日～15日を除く)で、電気使用量の削減目標は昨夏実績以上(平成22年同期比11%減)を目指すこととします。
- ・皆さんも、それぞれの地域で節電の取組が行われていることと思いますので、御協力ください。和歌山県の詳細についてはホームページを御覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/setsuden/>

□主な取組

1 家族そろっておでかけ

○夏の昼間に、家族でそろってスポーツ観戦、イベント、身近な集客施設等にお出かけいただくことにより家庭での電力消費を抑制

- ・2015年の国わかやま国体競技別リハーサル大会
- ・和歌山デスティネーションキャンペーン特別企画
- ・ほんまもん体験…農林漁業体験、生活文化体験、歴史文化体験、自然観察体験
- ・お得に楽しむ県立施設…県立近代美術館、県立博物館、県立自然博物館
- ・お得に楽しむ集客施設…家族のふれあい優待制度協賛店

2 県庁における節電への取組

○平成22年夏比15%以上削減メニュー

- ・冷房設備28℃の徹底、課室内照明30%程度消灯、エレベーター一部運転停止
- ・トイレのエアータオル及び便座保温の停止、昼間の電気自動車充電器の使用停止
- ・「毎日がノー残業デー」の展開、クールビズの推奨

3 家庭に向けての節電の働きかけ

○昨夏実績以上(平成22年夏比11%)削減

- ・エアコン28℃設定の心がけ、無理のない範囲でエアコン停止・扇風機の使用
- ・冷蔵庫の設定を「強」から「中」、不要な照明の消灯、

○節電コンクール

- ・和歌山県地球温暖化防止活動センターが実施しているイベントで、削減効果の大きいものやユニークな節電の取組等に対し景品の授与

○住宅用太陽光発電設備補助事業の実施、省エネ・節電関係家庭向け国庫補助制度等

○広報紙、テレビ、ラジオ等での広報活動

4 産業・業務部門に向けての節電の働きかけ

○昨夏実績以上(平成22年夏比11%)削減

- ・業務に支障のない範囲での自主的な協力の呼びかけ

○産業中小企業向け融資制度、省エネ・節電関係 事業者向け国庫補助制度等



5 「需給ひっ迫警報」発出時の対応

○県庁では空調設備等の停止

○県ホームページや防災わかやまメール等による緊急節電要請

大型観光キャンペーン和歌山デスティネーションキャンペーン すべてのプログラムがそろいました！

・今年の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年を契機に和歌山デスティネーションキャンペーン(わかやまDC)を県内市町村、観光関係団体等及びJRグループ6社と協働で実施します。



和み、和らく。和歌山から
はじまる旅。

和歌山デスティネーションキャンペーン
2014年9月14日④→12月13日⑤

◆キャンペーン特別プログラム◆

わかやまDCキャンペーン特別企画

◆1万人のウォーク&トレッキング

・県内各地で150イベント以上実施(期間中の土休日を中心に実施)

◆和みわかやま・まるごとスタンプラリー

・スタンプを県内観光施設等約300箇所を設置し、周遊を促進。抽選で県産品等が当たります

◆第19回全国万葉フォーラム in 和歌の浦

・全国の万葉愛好者が和歌山市に集いシンポジウム(11/15)やウォークイベント(11/16)を開催

◆白浜ビーチコンサート

・わかやまDCオープニングイベントとして白良浜で開催(9/14)。オープニングセレモニーも実施

◆世界遺産「高野・熊野」コンサート

・高野山(9/27)、熊野本宮大社(10/11)、熊野那智大社(10/25)
熊野速玉大社(11/8※高野・熊野夢舞台として実施)

◆全国世界遺産観光地サミット

・国内世界遺産登録地域の関係者が一堂に会し、世界遺産を活用した観光振興について意見・情報を交換(9/29、9/30)

◆わかやまご当地キャラぼん

・県内のご当地キャラ(25体)を「ピンバッジ」にして県内の主要なJR駅、道の駅、観光施設等26箇所販売

◆和歌山マリーナシティ特別企画

・「和歌山ポップカルチャーフェスティバル」を開催(11/1~11/3、水木一郎氏によるステージやアニメキャラクターに扮したコスプレイヤー等のイベント)

◆秘宝等の特別公開や国指定名勝等特別ライトアップ

・特別公開(高野山霊宝館、熊野三山の秘宝等)やライトアップ
(大斎原大鳥居、那智の滝、ごとびき岩、円月島、紀三井寺、橋杭岩等)



地域主催イベントの実施

・県内各地でDC特別企画、地域一押しイベント、キャンペーン、おもてなし等を実施

新たな観光素材

◆わかやまDC特別駅弁・料理の提供

・有名フードスタイリスト 飯島奈美氏プロデュースの駅弁をJR和歌山駅、紀伊勝浦駅、新大阪駅及び特急「くろしお」車内で販売。さらに県内11の宿泊施設では同氏のレシピによる宿ごはんを提供(9/14~12/13)

◆温泉地の魅力「美と健康」をテーマとした温泉地の情報発信

・温泉ビューティ研究者 石井宏子氏とコラボレーションし、同氏が現地を訪れ、提案した温

泉と温泉地の楽しみ方を「わかやま温泉ビューティ旅」として、DCイベントガイドブックやDC専用サイト等で紹介

◆産業とのコラボレーション企画

- ・ホールガーメントや伝統工芸品のお詠え、地場産業の見学や体験

◆産直市場・漁港・道の駅等の活用・PR

- ・主な産直市場や道の駅などをイベントガイドブックやDC専用サイト等で紹介

◆体験プログラムの充実

- ・地域一押しプログラムの情報発信と新たなプログラムの開発



おもてなしの充実

◆おもてなし県民運動「わかやまおもてなし宣言」の実施

- ・県民みなでお客様をあたたかくお迎え

◆和みわかやまウェルカムサポーター(観光キャラバン隊)

- ・県内外での観光PR、県内各地での「おもてなし活動」

◆荷物を預けて、手ぶらでらくらく観光(手ぶら観光)

- ・JR和歌山駅、紀伊田辺駅、白浜駅、串本駅、紀伊勝浦駅、新宮駅の構内や隣接案内所から各宿泊場所へ荷物を届けるサービスを実施(串本駅では通年、その他は9/14~12/13)

◆バリアフリー施設情報の発信

- ・県観光情報サイトで主な観光施設等(約250箇所)の情報を発信

◆和みわかやま宿泊得々キャンペーンの実施

- ・県内宿泊者に抽選で特産品等をプレゼント(9/14~3/31)

◆オリジナルわかばん手ぬぐいプレゼント

- ・JR利用の旅行商品等の購入者にプレゼント(先着10,000名様)

◆和歌山おもてなしトイレ大作戦

- ・大便器の洋式化、温水洗浄便座の設置、小便器の自動洗浄化



2次アクセスの向上

◆「高野・熊野アクセスバス」の運行

- ・高野山と熊野エリアを結ぶ中型観光バスを運行(9/13~11/3の土休日、1日4便、計20日間)

情報発信

◆メディアによる情報発信

- ・「熊野古道~お伊勢さんからもう一つの聖地へ~」(三重テレビ)及び放映時に併せて和歌山のCMを放映(全国日本テレビ系列、三重テレビ放送、BSフジ)

◆わかやまDC・PRパンフレットによる展開

- ・紀州浪漫「わかやまDC特集号」(20万部)、DCイベントガイドブック(50万部)により情報発信

◆ポスター展開等

- ・JRグループとタイアップし、全国JR主要駅等において本県の観光PRポスターを展開

◆わかやまDC専用サイト

- ・期間中のイベントや「おもてなし」企画を紹介する専用サイトにて最新情報を発信

◆わかやまDC特別プロモーション

- ・JR西日本及び地域と協働し、京阪神・西日本・首都圏・東海エリア等の消費者にDC開催を告知

・このほか、JR西日本における取組もあります。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.wakayamadc.jp/>

世界遺産登録10周年記念事業



紀伊山地の霊場と参詣道

・「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて10周年となる今年、県では、様々なイベントを企画して世界遺産登録10周年を広く周知するとともに、地域の魅力を発信していきます。

・7月7日、WTCコンファレンスセンター(東京都港区)において、「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』登録10周年記念フォーラム in TOKYO」を開催します。テレビ番組等の司会者として活躍中の 楠田 枝里子さんをコーディネーターにお迎えし、和歌山、三重、奈良の3県知事によるトークセッション等を実施します。8日には、那智勝浦町の体育文化会館において、「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』登録10周年記念祭」を開催し、前文化庁長官 近藤 誠一氏による講演や落語「熊野詣」等を実施します。これらのイベントの様については、来月号で詳しくお知らせします。

・今後も、以下のとおり各地でイベントを開催しますので、是非、ご参加ください。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年記念フォーラム in NAGOYA

・「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年の告知と地域の魅力を、メディア等を通じて広く東海地域に発信します。

◆開催日時：7月31日(木) 17:00～19:30

◆開催場所：ガーデンレストラノ徳川園(名古屋市東区徳川町1001) ガーデンホール

◆参加対象：東海地域各メディア(新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、Web等)関係者、東海地域各旅行会社関係者、東海地域各交通事業(鉄道、航空)関係者 **(一般参加できません)**

◆実施内容：トークセッション「世界遺産三県鼎談」 ほか

「世界遺産 これまでの10年これからの10年(仮題)」

和歌山県知事、三重県副知事、奈良県南部東部振興監

コーディネーター：たかひのてるこ(エッセイスト)



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年記念シンポジウム

・世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の特色やその価値、保全や活用の将来像について考える機会を提供するためシンポジウムを実施します。

◆開催日時：8月9日(土) 13:30～15:40

◆開催場所：グランフロント大阪北棟ナレッジキャピタル(大阪市北区大深町3-1) コングレコンベンションセンター

◆参加対象：一般(当日参加自由・無料)、関西圏各メディア関係者

◆実施内容：対談「国内外の世界遺産の状況について」 ほか

近藤誠一氏(前文化庁長官)、西村幸夫氏(ICOMOS 国内委員会委員長)

全国世界遺産観光地サミット

・世界遺産を活用した観光振興を推進するため、県内外の関係者が一堂に会し、これまでの取組、今後の方向等について意見・情報交換を行い提案を行うとともに、今後の取組を効果的なものとするため、その成果を全国に向けて発信します。

◆開催日時：9月29日(月) 13:30～17:00

9月30日(火)終日

◆開催場所：高野山大学(高野町高野山385) 松下講堂黎明館

◆参加対象：国内世界遺産所在地関係者、一般(主会場のみ参加可・無料)

◆実施内容：基調報告「世界遺産 観光地は今(仮題)」 ほか

報告者：久保美智子(旅する世界遺産研究家)、県内事業者等



※記念事業についてのお問い合わせ：和歌山県庁観光振興課世界遺産班 (073-441-2424)

イベント情報(7月11日～8月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
7/12～ 8/24	くじらに出会える海水浴場	太地町・くじら浜海水浴場	太地町産業建設課 0735-59-2335
7/14	扇立祭	新宮市・熊野速玉大社	熊野速玉大社 0735-22-2533
7/14	那智の火祭り・那智の田楽	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
7/14 7/15	高山寺夏祭り	田辺市・高山寺	高山寺 0739-22-0274
7/19 7/26	キャンドルイルミネーション	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511
7/24 7/25	熊野水軍河内祭の御舟行事	串本町・古座川河口付近	串本町産業課 0735-62-0557
7/24 7/25	天神祭	和歌山市・和歌浦天満宮	和歌浦天満宮 073-444-4769
7/26	粉河祭	紀の川市・ 粉河とんまか通り	粉河祭保存会 0736-77-2511
7/26	熊野古道清姫まつり	田辺市・中辺路町	中辺路観光協会 0739-64-1470
7/26	日前宮薪能	和歌山市・日前神宮	日前神宮國縣神社 073-471-3730
7/27	港まつり	和歌山市・和歌山港	港まつり実行委員会 073-432-3116
7/27 8/2, 3	おどるんや紀州よさこい祭り	和歌山市・各所	NPO 紀州お祭りプロジェクト 073-426-4424
7/30	茅輪祭り	和歌山市・伊太祁曾神社	伊太祁曾神社 073-478-0006
7/30	白浜花火フェスティバル	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511
8/1～ 8/15	かいなん夢風鈴祭り	海南市・物産観光センター	実行委員会 073-482-4363
8/2	紀州おどり ぶんだら節	和歌山市・和歌山城周辺	紀州おどり実行委員会 073-435-1234
8/2	串本まつり	串本町・串本	串本町観光協会 0735-62-3171
8/9	千日詣	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002



粉河祭は、西国三十三所観音巡礼の三番札所粉河寺の本堂の裏山にある粉河産土神社の祭礼で、1593年に起源をもつと伝えられ、旧暦6月18日に行われてきました。古式ゆかしい甲冑武者、大団扇、稚児、獅子舞、鳳輦と多種多彩な行列に続き、13台の趣向を凝らした山車が出て、太鼓ばやしに伴います。

自然・風物情報(7月中旬～8月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
7月中旬	ハウス栽培の「刀根早生柿」 出荷始まる	かつらぎ町・妙寺	J A紀北かわかみ 0736-42-5361
7月中旬	ハマボウ開花	御坊市・日高川河口南部	御坊市商工振興課 0738-23-5531
7月中旬	ハス開花	岩出市・ 植物公園緑化センター	植物公園緑化センター 0736-62-4029
7月中旬	ブルーベリー狩り	かつらぎ町・観光農園	かつらぎ町産業観光課 0736-22-0300
7月下旬	真夏にアジサイ満開	かつらぎ町・ 花園アジサイ園	花園生産物直売所 0737-26-0888
7月下旬	ボウズハゼの滝登り	古座川町・滝ノ拝	古座川町観光協会 0735-72-0645
7月下旬	梅の天日干しはじまる	みなべ町・各地	J Aみなべいなみ 0739-72-4387
8月上旬	サルスベリ咲く	田辺市・新庄町	田辺市管理課 0739-26-9966
8月上旬	皇室に献上する 刀根早生柿の荷造り式	かつらぎ町・ J A紀北かわかみ	J A紀北かわかみ 0736-42-5361

○梅の天日干し

(効果)

- ・太陽の熱で殺菌する
- ・余分な水分を蒸発させ、保存性や品質を高める
- ・風味豊かでまろやかな味にする

(天日干しの方法)

- ・天気予報等で晴天が続く日を見極める
- ・梅の大きさにより3～4日、天日干しにする
- ①梅を取り出し、ザルに並べる
- ②ザルは、直接地面に置かずブロック等を台にして風通しを良くする
- ③梅をひっくり返しながら3～4日干す
朝夕の、梅が冷えたときに裏返すと、梅がザルにつかず簡単に裏返すことができる
- 生の梅の重さの50～60%になったら完成
- ④干し上がったら、蓋付きのビンやビニール袋の口を閉めて保管する

※梅酢も保存して利用できます

- 料理に…しそ漬、ドレッシング、漬物など
- 治療に…うすめてうがい薬に
- その他…まな板の消毒、脱臭作用



～編集後記～

和歌山では梅雨入り後も降水量が少ない状況ですが、全国各地でひょうや局地的な集中豪雨等驚かされることもありましたが、皆さんのお住まいでは被害などありませんでしたでしょうか。まだまだこれからが梅雨本番でもありますので、注意が必要です。

さて、サッカーの世界カップもいよいよ佳境に入ってきました。残念ながら日本代表の決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、私も通勤前にテレビ・ラジオで声援を送っていました。皆さんの中にも、朝早くから八咫鳥の神通力と勝利を信じて応援された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。グループリーグ突破はできませんでしたが、日本代表の選手には4年後に向け引き続き向上心をもって、さらなる高みを目指してくれるものと信じています。

そのワールドカップにおいて、日本代表の主力として活躍しました長友佑都選手は、試合の前後には梅干しを食べるそうです。イタリアに移籍した当時、パワーの源は「ウメボシ」と、現地のスポーツ紙などが報じたことで一躍注目されました。さらには、女子サッカー日本代表のなでしこジャパンも、ワールドカップやオリンピックに梅干しを持って行き、快進撃の糧になったといえます。

梅に含まれるクエン酸が疲労回復を助け、酸味が唾液の分泌を促進して消化吸收を早くします。梅の収穫量が断然1位(平成25年産:全国収穫量の64%)である和歌山県にとって、世界を舞台に活躍する方々を陰ながら支えていることは、本当に誇らしいことで、もっともっと多くの方々にこのことを知ってもらうことが大事です。梅干しのほかにも、和歌山には健康によくおいしい食べ物がたくさんあります。このことをもっとPRして、本県の魅力を売り出していきたいと思えます。

いよいよ夏本番間近であります。皆さんも梅干しで夏バテ防止、おいしい物をいっぱい食べて暑い夏を乗り切りましょう。もちろん、熱中症患者が増加傾向にあるという気になるニュースもありますので、無理をなさらず冷房も適度に使用しながら、くれぐれもお気を付けてお過ごしください。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2014年(平成26年)7月 NO.75

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022